

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年4月20日

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C	
横断的な課題	農工商観連携した果物を軸とする地域活性化「ながの果物語り」の推進					
地域重点政策	・地域資源を生かして県経済をけん引する「活力あふれる」長野地域づくり ・「人が集い、文化薫る」魅力ある長野地域づくり					
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属	企画振興課、農業農村振興課、商工観光課
事業名	果物新商品開発支援事業				電話	026-234-9501
				E-mail	nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	「しあわせ信州創造プラン2.0長野地域計画」に基づき、長野地域の強みである果物を生かした新商品開発の支援等を通じ、果物の魅力発信・消費拡大を図る。				
	現状と課題	・高山村が果物を利用した新商品(特産品)の開発を希望している。 ・規格外となった果物は多くが廃棄処分されており、それらの有効活用による生産者支援が求められている。				
	内容 (変更後の内容)	○果物新商品開発支援チーム(とりまとめ:企画振興課)により、次の事業を実施する。 (1)高山村りんごワインコンポート商品化支援事業《商工観光課》 高山村の特産品開発事業を引き続き支援する。 (2)ワッサー等を活用した加工品の新商品開発・販売支援《農業農村支援センター》 廃棄処分になっているワッサーやネクタリンを活用するため、須坂市、JA長野開発機構等と連携し、果物加工品の商品開発、販売支援を行う。 (3)学生&菓子店!りんごsweetsプロジェクト《農業農村支援センター》 長野地域の高校生(6チーム)が「こんなりんごスイーツが食べたい!」という商品を考案し、地域の菓子店と連携して新商品を開発、販売する。開発の際には、若年層の果物消費量減少、規格外品の利用方法、りんご生産販売農家などの課題抽出や、りんごの栄養成分等について検討する。商品の完成後、県庁会見場にて関係者及びメディア向けに成果発表会を実施し、翌日から各菓子店等において完成したスイーツを製造・販売する。販売開始に合わせ、長野地域産の果物を使用したお菓子の詰め合わせが当たるスタンプラリーを実施する。 (①開発中は試食用スイーツを協力店から毎回購入する計画だったが、協力店側から一括支給の要望があったため、協力謝礼に上乗せして支払う方法に変更した。よって、「材料代」分を需用費から報償費へ節変更する。②スタンプラリーの景品代を需用費として計上していたが、北信会計センターより景品代は報償費で支払う必要があるとの指摘を受けたため、こちらも報償費へ節変更する。③計画時に想定していなかった農業体験の保険料や、機材の運搬費が必要となったため、使用料の一部を役務費及び、若干の不足が見込まれる需用費へ節変更する。)				
	事業期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考		
	(1)高山村りんごワインコンポート商品化支援	・商品化に係る検討、相談対応 ・試作、商品化等に係る広報及び情報発信	0	・高山村が独自財源を活用したため、推進費からの支出なし。		
	(2)ワッサー等を活用した加工品の新商品開発・販売支援	・新商品開発委託費 ・パッケージデザイン制作	550,000	・委託料(新商品開発) 200千円×2品×1.1=440千円 (パッケージデザイン)50千円×2品×1.1=110千円		
	(3)学生&菓子店!りんごsweetsプロジェクト	・菓子店協力謝礼 ・スイーツ試作 ・スイーツスタンプラリーの実施	684,493	・報償費390,000円 ・需用費248,684円 ・役務費32,609円 ・使用料13,200円		
合計		1,234,493				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	商品開発・販売支援件数		8件	17件	● 達成	
					○ 一部達成	
					○ 未達成	

事業実績・成果	<p>(1) 高山村りんごワインコンポート商品化支援 過年度から引き続き、高山村の商品開発支援を実施。 高山村独自財源について対応したため、局としては商品化に係る相談対応や広報といった形で支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品概要: 高山村自慢のりんごとワインを使用したスイーツ「ポム・ショコラ」 赤ワイン及び白ワインの2種類(6個入り 税込1,620円) R4.3にながの東急百貨店にて期間限定で先行販売。R3.4以降、長野管内の取り扱い店舗(5店)にて販売開始。 <p>(2) ワッサー等を活用した加工品の新商品開発・販売支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワッサー: 3品開発(シロップ漬け、ドライフルーツ、蒸留酒) ・ネクタリン: 7品開発(スパークリングワイン、ドライフルーツ、ジャム、フルーツソース、フルーツバター、フルーツ甘酒、フルーツビネガー) <p>(3) 学生&菓子店! りんごsweetsプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菓子店6店舗、高校生6チーム(24名)により開発 ・6品開発、うち5品が販売継続(令和4年2月13日時点の売上個数: 2,960個、売上金額: 867,800円)
今後の方向性	令和4年度についても、管内の果物を利用した新商品開発の支援を行い、「ながの果物語り」の推進を図る。